

～平成20年度茨城県骨髓バンクドナー登録会総括～

NO	月	日	曜日	会場名	担当保健所	地区普及広報委員	登録推進員	説明員および参加者	登録者数	献血者数	登録率%
19		14	火	三菱化学鹿島事業所	潮来	牛島	飛田	—	10	53	18.9%
20		14	火	利根町役場	竜ヶ崎	伊井	—	福間、長尾	17	47	36.2%
21		15	水	協和総合センター	筑西	細谷	—	細谷(み)	30	95	31.6%
22		17	金	バイシア萩モール店	日立	牛島	得田	井手、田崎	9	53	17%
23		19	日	那珂湊港 (みなと産業祭)	ひたちなか	伊井	得田	伊井(陽)、和田、長尾	19	58	32.8%
24		25	土	神栖市民体育館 神栖市消費生活展	潮来	牛島	—	伊井	20	55	36.4%
25		26	日	常陸那珂港 (建設フェスタ)	ひたちなか	伊井	得田	長尾、和田、弓野	34	48	70.8%
26		27	月	京三電気	古河	小田倉	—	—	27	32	84.4%
27		29	水	筑波大学	つくば	福間	—	福間(明)	11	60	18.3%
28	11	14	金	かわねやフェスタ店	常陸大宮	伊井	得田	伊井(陽)	23	72	31.9%
29		17	月	前川製作所	竜ヶ崎	伊井	—	山崎、牛島	7	50	14%
30		18	火	日本メクトロン 南茨城工場	つくば	福間	—	福間(明)	18	61	29.5%
31	12	16	火	イオンモール 水戸内原店	水戸	山崎	飛田	山崎(晃)、和田、谷津 夫妻	21	35	60%
32		18	木	下妻市役所	常総	福間	—	福間(明)、長尾	10	84	11.9%
33	1	29	木	NOKクリューバー	日立	牛島	得田	井手	18	65	27.7%
34	2	6	金	日本メクトロン 鹿島工場	潮来	牛島	飛田	—	15	61	24.6%

合計 614名 2067 29.7%

34回平均 18.1名/回

※地区普及広報委員 担当回数：山崎 6回、小田倉 5回、牛島 7回、細谷 2回、

福間 7回、伊井 7回

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

～平成20年度を振り返って～

会長 牛島英二

会員の皆さん、いつも当会活動に積極的にご参加いただき、誠にありがとうございます。
2月6日の日本メクトロン登録会を以って、平成20年度の全34回の登録会が無事終了いたしました。

データ的には登録者数合計614名で、平成14年度のドナー登録会実施手順による献血併行型登録会体制のスタート以来過去最高記録となる好成績を収めることができました。また2月26日には全国30万人の登録目標に対する県別目標数6,900人を達成いたしました。これも偏に県業務課を始め、各保健所ご担当者の皆様、血液センターの大変積極的なご指導・ご協力の賜物であり、心から御礼申し上げますと共に、会員各位の多大なるご尽力にも感謝いたします。

ご承知の通り、骨髄バンク事業は国が掲げたドナー登録目標数30万人を昨年達成いたしました。当初目標とした患者さんの9割に適合するドナーが見つかることは達成されたものの、実際に移植ができたのは6割に満たないのが現状です。

今なお多くの患者さんが骨髄バンクに登録され、骨髄移植を待ち望みながら移植を受けられない患者さんがまだまだ多くいらっしゃることから、県別目標数達成は一つの道しるべとして、これからも一人でも多くの県民の皆様にご登録していただけるよう努力して参る所存ですので、県ならびに血液センターにおかれましては、今後ともよろしくご指導・ご協力いただけますようお願い申し上げます。

今年度も県ならびに各保健所のご尽力で21回の登録会が予定されており、年度始めの計画分は既に実施が始まっています。登録会を円滑に実施するためには会員の皆様のご協力が不可欠です。「一人でも多く、一刻も早く患者さんの救命に寄与する」を胸に刻み、でも「気負わず、あせらず、できることから、楽しく」で一歩ずつ活動してまいりましょう。

1月～3月 茨城県内イベント登録会等報告

1月29日 NOKクリューバ(株) 献血併行登録会

ドナー登録者数 18名(受付19名)
献 血 者 数 65名(受付78名)
参 加 者 日立保健所 菊池様、中井川様
登 録 推 進 員 得田様(日立献血ルーム)
いばらきの会 井手様
財団地区普及広報委員 牛島

今回は一日に3ヶ所の会場を移動しながらそれぞれ登録会を開催するという、過去に例のない初めてのケースとなりましたが、血液センターや保健所のご協力により、会場の設営撤収～移動ともに比較的スムーズに実施することが出来ました。

また各会場とも受付時間が1時間15分～2時間と限定されているため、献血希望者の方が途切れることなく会場を訪れ、慌しくはありませんでしたが比較的効率良く受付が出来たものと思います。今回から、献血申込書記載中の方に配布する県パンフレットに織り込むチラシに、アサガオの種をホチキス止めしたものを使用しましたが、その効果なのか献血受付中の待ち時間に県パンフレットを通す方が多いように感じました。

また、血液センターが作成された通知ポスターにも骨髄バンク登録会のことを記載していただいていたので、その効果もありドナー登録のみの方も何名かいらっしゃいました。

(牛島英二)

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

1月～3月 茨城県内イベント登録会等報告

2月6日 日本メクトロン鹿島工場 献血併行登録会

ドナー登録者数 15名
献血者数 61名 (受付81名)
参加者 潮来保健所：床宿様、児玉様
登録推進員：飛田さん(水戸献血ルーム)
地区普及広報委員 牛島

昨年12月の日本メクトロン南茨城工場を始めとしたNOKグループ企業での登録会が今年度の最後の登録会となりました。

NOKグループ各社の献血はそれぞれの労働組合が主催で、ドナー登録会も労組からのお申し出により実現することになったようです。

先月の北茨城でのユニマテック、NOKクリューバーも同様にそれぞれの会場では労組役員の方が終日会場に常駐し、組合員の方々の献血カードを一括保管管理されていて、手際良く献血希望者へのカード受け渡しをされていました。また、詳しくはお話を聞けませんでした。NOKグループ企業各社においてドナー休暇制度の導入がなされたことも今回の一連の登録会開催の契機となったようです。

(牛島英二)

今後の主な登録会の予定

5月28日 日本メクトロン奥原工場
29日 筑波大学
6月 9日 ロックシティ守谷店
12日 ベイシア玉造店
日本メクトロン南茨城工場
15日 東海村役場
19日 NOKクリューバー・ユニマテック
30日 那珂核融合研究所
7月 8日 三桜工業古河工場
9日 日本メクトロン鹿島工場
22日 筑西市協和総合センター

※登録会に参加を希望される方は事務局までお問い合わせください。また、企業様敷地内での登録会に關しましては事前に先方様への登録などが必要なケースもありますので事前に確認をお願いいたします。

なお、登録会以外にもバルーン募金などの普及活動もありますので、知人・友人・ご家族お誘い合わせの上ぜひともご参加お待ちしております。皆様のご協力よろしくお願ひ申し上げます。

4月11日 平成21年度総会開催

4月11日に国民宿舎つくばねにおいて平成21年度総会が開催され
議題の

平成20年度 活動報告
平成20年度 会計報告・監査報告
平成21年度 活動方針案
平成21年度 平成21年度予算案
平成21年度 役員案

が、参加者の拍手を持って承認頂き、また、多くの皆さんにご参加を頂きありがとうございました。お陰様にて盛会のうちに終了することが出来ましたことを心からうれしく思います。

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

総会では定例議題に先立ち、井手顧問よりご挨拶をいただき、また今年から新たに会員となられた宮原さん（牛久市議副議長）からもご挨拶をいただきました。湯本さんには昨年暮れに続いて遠路長野よりお越しいただき、とてもお元気そうで何よりでした。

今年は当会創立10周年でもあり、「設立10周年を迎えて これまでの歩みと今後の課題」と題した資料を配布して、私が10年間の活動総括を報告しました。配布資料の作成には約一週間ほど時間を要しましたが、過去の活動を振り返ってみると県薬務課、各保健所、血液センターの好意的・積極的なご対応と会員各位の大変なご努力、そして関係各位のご支援により当会の今日があることを痛感いたしました。

当会モットーは「気負わず、あせらず、できることから、楽しく」ですが、私自身は「気負って、あせって、できないことにも、ただがむしゃらに」ひたすら突っ走ってきて、あっと言う間の10年間だった、というのが率直な感想です。総会後の懇親会では昨年めでたくドナー経験者（当会では6人目）となられた佐藤伸次さんの奥様と、ご息女で骨髄バンクからの移植により健康を回復したルカちゃんからご挨拶をいただきましたが、舞台上や会場内を走り回るルカちゃんの元気ハツラツ・元気一杯の姿を見てまた今年もがんばろうと思いました。満開の桜に包まれた筑波山はとても良い思い出となりました。次回はもし桜の時期とまた重なるようでしたら、まず桜の下で花見をしながら（お酒もいただきながら）総会をやりたいものだと思います。（牛島英二）

4月16日 茨城県保健所担当者研修会

出席者

茨城県薬務課 氣田（けた）技佐、原係長
茨城県血液センター 川田様、塙様
各保健所御担当者
いばらきの会 牛島、山崎、伊井

以上のようなメンバーで研修会が行われました。

技佐の氣田さんは、昨年度異動で来られた方で、牛島さんとは面識のある方でした。過去、骨髄バンクに携わられておられたようですのでこれからも色々のご協力頂けるのではないかと思います。

また、保健所の担当者もかなり異動がありましたが、バンク業務が初めてという方は少ないようで、全体的には安心感がある布陣です。今年度は、登録会の回数はかなり減っておりますが、引き続きドナー登録者の増大に努めていきましょう。ということでお願いをいたしました。

なお、今年度からの登録申込書様式の変更に伴う書類の流れが、血液センターの川田さんから説明がありました。

これまでとの変更点

- ①検体の運搬が最終便の1回だけとなった（今までは3便）
- ②検体数と登録者数の最終確認のため、「検体受渡伝票」を地区普及広報委員も記入との説明がありました。

ということで、今年度からは今までなかった「検体受渡伝票」なるものが目新しく登場した訳ですが、この伝票は、採血看護師がバーコードを張り、検体数を記入し、最終便を出す前に地区普及広報委員に渡され、最終チェックした登録申込書の数を記入し、検体数と登録者数の漏れがないかを、二重チェックするという仕組みです。

地区普及広報委員の皆様は、新たな手続きが増えますが、ご対応いただけますよう、よろしくお願い致します。

（伊井義人）

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

祝！！

「平成20年度県民健康づくり推進事業功労者県知事賞受賞

当会は、2月17日に県庁において開催された平成20年度県民健康づくり表彰式におきまして、健康づくり推進事業功労者県知事表彰を受けました。表彰式には当会を代表して私が出席いたしました。

表彰理由は「平成11年9月から、県内イベント等で骨髄バンク普及啓発活動を行い、また、平成13年4月以降、献血併行型骨髄バンクドナー登録会へはドナー受付や説明員として主体的に関わり、本県骨髄バンク事業推進に貢献している」で、薬務課のご推薦による受章です。感謝状の文面は「骨髄バンクを支援するいばらきの会殿 あなたは多年にわたり公衆衛生思想の普及に尽力され、その功績は大であります。ここに深く感謝の意を表します。平成21年2月17日 茨城県知事 橋本昌」となっています。

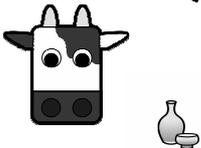
当会は平成11年9月に創立され、今年で十周年を迎えます。その記念すべき年の初めにこのように光栄な表彰を受けることは誠に喜ばしく思います。

活動開始当初の本県のドナー登録者数は、全国30万人に対する県別目標数達成率において全国最下位レベルに低迷していましたが、県薬務課、各保健所、血液センターの好意的・積極的なご対応と会員の皆様のご尽力により今年3月末時点で全国29位にまで上昇してきています。

この度の受章を機に心を新たにして、これからも一人でも多くの県民の皆様にドナー登録していただけるよう一歩ずつ着実に前進していきたいと考えておりますので、会員の皆様のなお一層のご協力を心からお願いいたします。

なお、表彰状は、いばらきの会発足時の事務局長を務めて頂きました山崎さんのご好意により「くるみ屋」さんに骨髄バンクコーナーを設けて頂きまして掲げて頂いております。是非、くるみ屋さんに足をお運び頂きご覧頂ければと思います。（牛島英二）

会長の独り言



1. 「コピペ」のこと

「コピペ」という言葉をご存知だろうか？パソコンを使い慣れた方ならすぐにお判りと思うが、「コピー&ペースト」の略語のことだ。メールやワード・エクセルなどで文章や資料作成の際に、他のメールやファイルから適当な部分をコピーして新しい文章に貼り付けることが今のパソコンではいとも簡単にできてしまう。

私などはパソコンに向かって仕事をする時間が長く、メールや各種ファイル作成ではこの機能を最大限に活用している。先日、NHKのテレビ番組で「コピペ」に関する特集を放映していたが、驚いたことに大学の授業で学生にあるテーマでレポートの提出を求めると、かなりの割合の学生が「コピペ」によりインターネットなどで得た情報を用いてレポートを作成提出しているとのこと。

さらには小学生の夏休み読書感想文の宿題に対して、ネットでは作品毎の感想文例が収載されていて、それをそのまま自分の作文として用いられているとのこと。こうした傾向が定着することになれば、日本語をしゃべることは出来ても自分の考えをまとめて、文章を作成する能力が衰退

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

してしまうことは目に見えている。

かく言う私もパソコンで文章を作成することが多いことと老化も手伝って、手書き文章を作成しようとすると漢字を思い出せないことがしばしばある。

そんな時にパソコンで調べるとはなんともお笑い種ではある。

2. ドナー登録者県別目標数達成について

会報冒頭でも述べた通り、今年2月26日に本県のドナー登録者数が6,900人を超え、全国目標30万人に対する県別目標数を達成した。同目標数は平成12年国勢調査時のデータによれば6,915人であったが、平成17年国勢調査時のデータでは6,849人に下方修正されたため、正確に言えば今年1月末時点での登録者数が6,873人であり、既に1月末時点で達成されていたことになる。

全国レベルでは目標30万人達成は昨年1月だったのでそれに遅れること1年ではあるが、全国で26番目、平成4年1月受付開始以来17年間での目標達成である。

当会は「一人でも多く、一刻も早く患者さんの救命に寄与する」を活動理念としており、数値目標を掲げて活動しているわけではないが、一つの大きな節目として目標達成を素直に喜びたい。

平成14年度からスタートした本県における献血併行型ドナー登録会実施体制が登録者数の大幅な増加に寄与したことは言うまでも無く、ボランティアマインドあふれる献血希望者にドナー登録を呼びかけることがいかに有効かを実証してくれた。

県別目標達成を受けて、今年度から各保健所年1回以上のドナー登録会開催となったが、これからも一人でも多くのドナー登録者を得られるようがんばっていきたい。(牛島英二)

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！

骨髓バンクのボランティアを応援してください

骨髓バンクを支援するいばらきの会では、茨城県内で骨髓バンクの普及啓発をボランティアで行っています。活動資金は皆さまの善意の寄付によってまかなわれています。ボランティア活動への応援をお待ちしております。なお、ご面倒でもご寄付と会費の納入は郵便振替でお願いします。

郵便振替口座名義：00110-3-127575

加入者名義：骨髓バンクを支援するいばらきの会

事務局からのお知らせ

心のこもったご寄付をありがとうございました。(2009. 1. 1~5. 20)

後藤カツ子様 5,000円

建設未来協議会様 50,000円

牛島英二様 30,000円

伊井義人様 3,000円

福間 究様 2,000円

大屋隆子様 8,000円

長尾洋子様 10,000円

ドナー登録は18歳から54歳までの健康な方ならどなたでも登録ができます。1人でも多くの皆様の御協力をお願いいたします。また、骨髓移植推進財団ホームページからも事前のお申し込みが可能となりました。ドナー登録についての詳しい説明もございますので是非ご覧ください。<http://www.jmdp.or.jp/index.html>

日本骨髓バンク骨髓提供希望者(ドナー)登録者数:336,609人(県内6,907人)

骨髓移植希望者(患者数):2,552人(海外1,205 県内23人)

**バンクを通じての移植例数:10,435例(海外183県内移植数193例、県内採取数211例)
(2009年04月末現在)**

(財)骨髓移植推進財団 ホームページ <http://www.jmdp.or.jp>

ドナー登録についてのご質問・お問い合わせは

気負わず、あせらず、できることから、楽しく！